

事務事業名	農業者年金加入推進事業		所属部局	農業委員会		単位番号	11012			
	□ 実施計画事業		所属課室	農業委員会事務局		課長名	原 一			
			所属担当	総務担当		担当者名	塚原 利幸			
基本政策	基本計画	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	07	農林水産業の振興	事業区分	01	一般	06	01	01	020	12
施策	12	生産を支える基盤の整備充実		<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度)	法令根拠		農業者年金基金法			
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)						
事務事業の概要	農業者の老後生活の安定と福祉の向上に加え、農業の担い手を育成確保するという目的を併せ持つ農業者の年金制度である。		項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
	①新たな年金加入者の推進を図る。		報償金	111						
	②基金の説明会に参加し、国の動向、制度の変更に関する情報を得る。		消耗品費	84						
			食糧費	5						
							計			200

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
25年度活動実績	⇒	名称 単位
26年度活動予定	⇒	ア 加入推進説明会 回
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⇒	イ 加入促進通知 件
国民年金第1号被保険者(20歳以上60歳未満)で、60日以上農業従事している者	⇒	ウ 訪問件数 件
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
農業者年金加入者が、積み立てた原資とその運用益により、生涯にわたり年金が受けられる。	⇒	名称 単位
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	⇒	ア 新規加入者 人
農業の担い手である農業後継者、認定農業者、家族経営協定の増加。	⇒	イ 認定農業者 人
	⇒	ウ 家族経営協定者 世帯

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	160	150	175	175	150	150	
		一般財源	千円	12	21	28	28	22	22	
	事業費計(A)	千円	172	171	203	203	172	172	0	
	人件費	人	2	2	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	180	180	180	180	180	180	180	
	人件費計(B)	千円	819	819	819	819	819	819	819	0
	(A)+(B)	千円	991	990	1,022	1,022	991	991	0	
活動指標	ア	回		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
	イ	件		55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	
	ウ	件		20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	
対象指標	ア	人		55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	
	イ	人								
	ウ	人								
成果指標	ア	人		2.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
	イ	人								
	ウ	人								
上位成果指標	ア	人		450.0	470.0	490.0	510.0	530.0	530.0	
	イ	世帯		26.0	27.0	27.0	29.0	29.0	29.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	農業者年金基金法の施行に基づき、昭和46年1月に専業的農業者の老後生活の安定とともに、適期の経営移譲を通じた農業経営の近代化と農地保有の合理化の促進を図るために開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	担い手不足や高齢化等が進展し、加入者数の減少や収納率の低下等が年金財政の圧迫を招き、平成14年に賦課方式(年金給付費用を加入者の保険料で賄う方式)から、加入者の保険料に依存しない積立て方式(年金)
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	「農業者年金加入対象者から、「農作物の価格低迷により、農家の収入が減って国民年金の保険料を納めるのがいっばいで、農業者年金まで取めることができない。」との声がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	現状で問題なし
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	農業者年金加入推進事業	所属部	農業委員会	所属課	農業委員会事務局
-------	-------------	-----	-------	-----	----------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 農業者の担い手、認定農業者の確保及び、政策年金としての役割を担っている。また、総合計画の生産を支える基盤の整備充実にも結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 農業者年金基金法により業務の一部を、市に委託されている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 農業者年金加入対象の条件を満たしておれば、農地を持っていない農業者や、配偶者、後継者などの家族従事者も加入できる。また、国民年金の第1号被保険者でなければいけない条件が足かせとなっている部分があるが、国の制度上の問題であるため対象の見直しは難しい。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 ・現在受給を受けている人には、適正に年金が支給されている。 ・農業収入が増加すれば経済的にもゆとりが生まれ、各自が老後に備えようとする気持ちが強くなるが、現在は農業収入が
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
効率性 評価	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 農業者年金被保険者及び加入対象者がいる限り影響は <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 農業者年金被保険者及び加入対象者がいる限り休止はできない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 基金からの委託金(定額10/10)で事業を行っているため、削減はできない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の人件費なので削減できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 ・国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する人は誰でも加入でき、公平である。 ・支払った保険料は将来年金として受け取れ、保険料は月額2万から6万7千円の間で自身で設定可能である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	農業収入が増加すれば経済的にもゆとりが生まれ、各自が老後に備えようとする気持ちが強くなるが、現在は農業収入が低く、加入を希望する人が少ないため、農業収入を上げるような対策をとらなければ維持は難しい。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ① 農業者の高齢化、食糧供給力の低下、及び耕作放棄地の増大等厳しい情勢にある中で、国民に対する食糧の安定供給を確保するためには、農業の担い手を確保して新規加入者の推進を図る。 ② 農林振興課と連携を図り、農業収入を上げるような対策の立案。農業者の生涯所得の充実を図り、農業を職業として選択しうる魅力あるものとしていく。 ③ 農業協同組合と合同で農業者年金の説明会、相談会の開催。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① 農林振興課、農協との連携。 ② 国策としての農業政策。(特に果樹などの小規模農家対策)	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	④	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	④																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					